

兵庫県のに漁場環境情報 (東播海域 22号)

2020年 4月 8日発行

兵庫のに研究所

珪藻は、この海域西部においてはキートセロスやリゾソレニアが少し確認される程度でした。一方、明石海峡部から林崎新漁場中央周辺にかけて、スケルトネマやニッチアがやや多く確認されました。窒素は、陸水等の影響が見られた地点を除き二見西部以西で $1 \mu\text{g-at/L}$ 以下、二見東部以东で $1 \sim 2 \mu\text{g-at/L}$ の値となっています。

(水温) 漁場内平均 12.7°C 。平年より 1.4°C 、昨年より 0.8°C とも高い。(塩分) 平均 32.08psu 。前回(31.96)より 0.12psu 高い。
 (栄養塩、珪藻) 二見以西の海域ではキートセロスやリゾソレニアが確認されたが、前回(4/1)調査と同様に発生量は少ない。現在、大阪湾でスケルトネマとニッチアが優占的に大量発生しており、大阪湾から流入する海水の影響を大きく受けていた明石海峡部周辺では、スケルトネマが海水 1ml あたり 1000 細胞前後と多く、また林崎新漁場中央周辺においても 500 細胞前後とやや目立って確認された。この海域の栄養塩は降雨により上昇が見られていたが、今回調査では降雨前の前々回(3/26)調査時に類似した状況となっている。

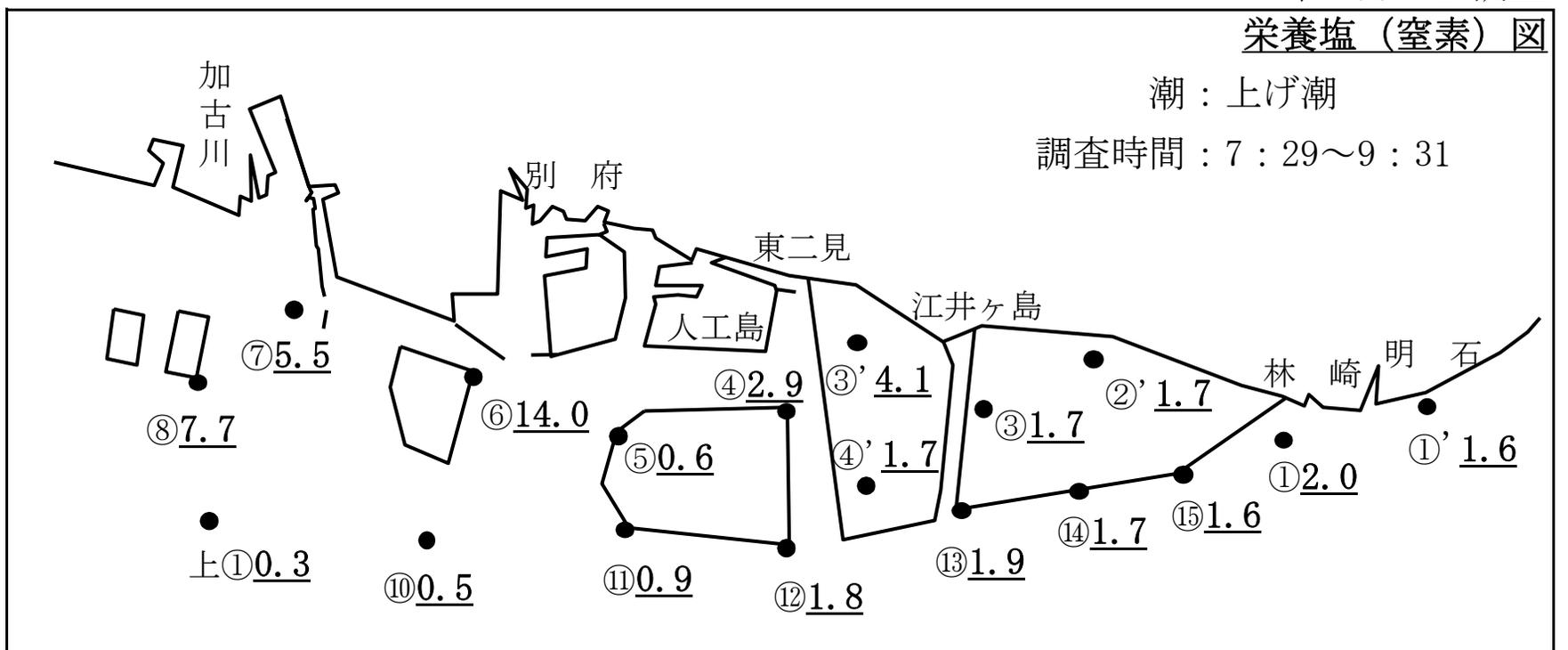
	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	12.4	12.7	11.3	11.9
窒素	4.2	3.3	3.2	3.4
リン	0.36	0.31	0.25	0.26

(4/1)

(4/5)

2020年 4月 8日調査

栄養塩(窒素)図



水温図

